

Engineer Support Company

Make Value!



'21年1月期 第2四半期 オンライン説明会

2020年9月23日



— Create the Future —

ARTNER



JPX

東証一部上場

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 会社概要 | P3 |
| 2 | 第59期（'21年1月期）第2四半期 決算概要 | P19 |
| 3 | 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） | P29 |
| 4 | 第59期（'21年1月期）業績予想、配当予想 | P35 |
| 5 | 参考資料 | P40 |

1

会社概要

P3

2

第59期（'21年1月期）第2四半期 決算概要

P19

3

中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期）

P29

4

第59期（'21年1月期）業績予想、配当予想

P35

5

参考資料

P40

■ 社 是

精神の追求

智識の追求

創造の追求

■ 経営理念

「エンジニアサポートカンパニー」

－ 私達は技術者の夢をサポートします －

人をつくり 技術を育み 技術者を通じ社会に貢献し
全従業員の幸福と会社の反映を目指します

■ 社名の由来

ART
より優れたクオリティを
追求する「Art」

+

ARTNER

+

PARTNER
顧客の信頼に応える
「Partner」

1953年～

- 1953年兵庫県尼崎市にて
有限会社関口興業社として創業



創業

- 設計部門より設計図面を
預かり「白焼き」「青焼
き」で複写・製本



- 設計部門に頻繁に出入りする



- 阪神工業地帯の重工業
メーカーに対して「工業
用手袋」の販売・製造



- 理系社員を雇い設計図面
のトレース業務を始める



- トレース業務だけでなく、
設計開発業務の需要が高
まる

1962年～

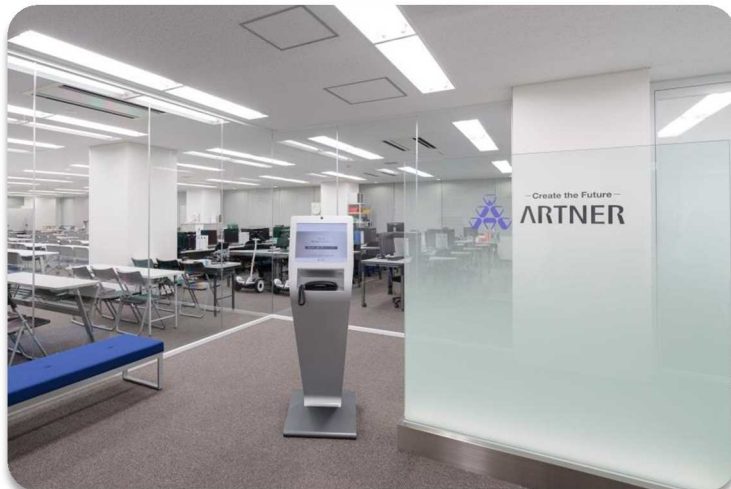


本 社	東京／大阪
事業拠点	横浜／宇都宮／大阪／名古屋
研修拠点(LC)	東日本／西日本

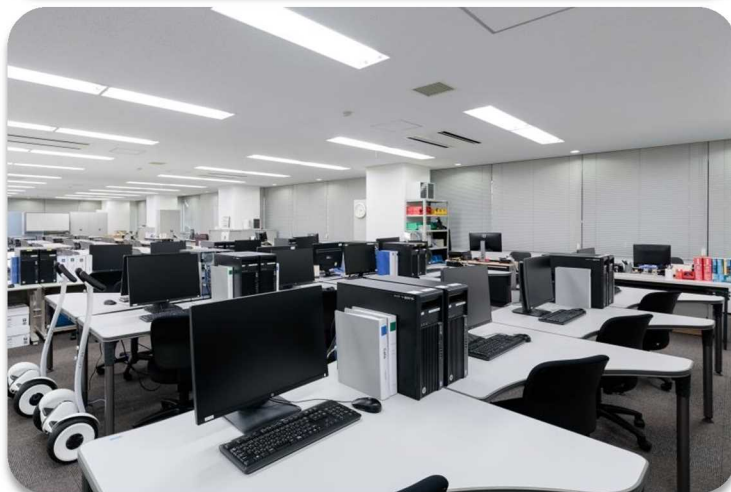


西日本LC(2019.1.15移転)、東日本LC(2020.3.2スタート)

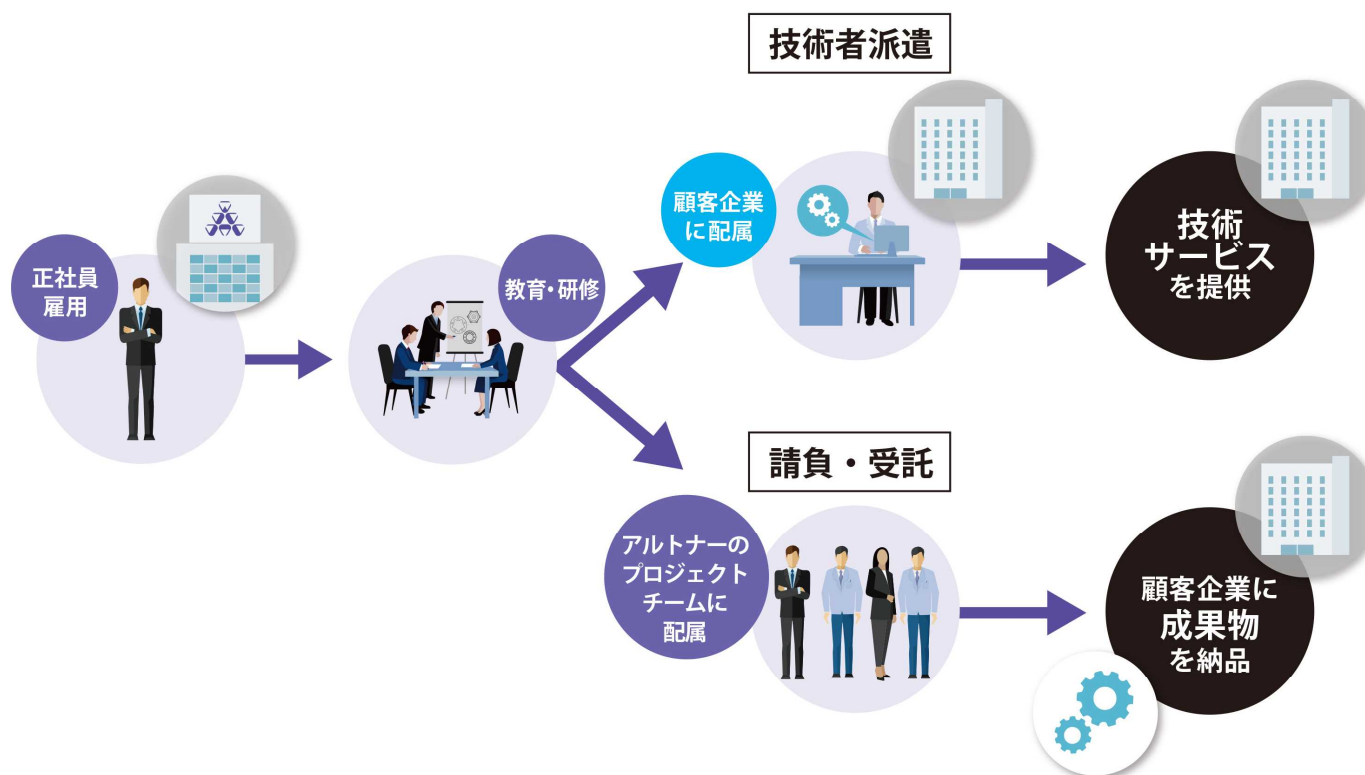
西日本 LC



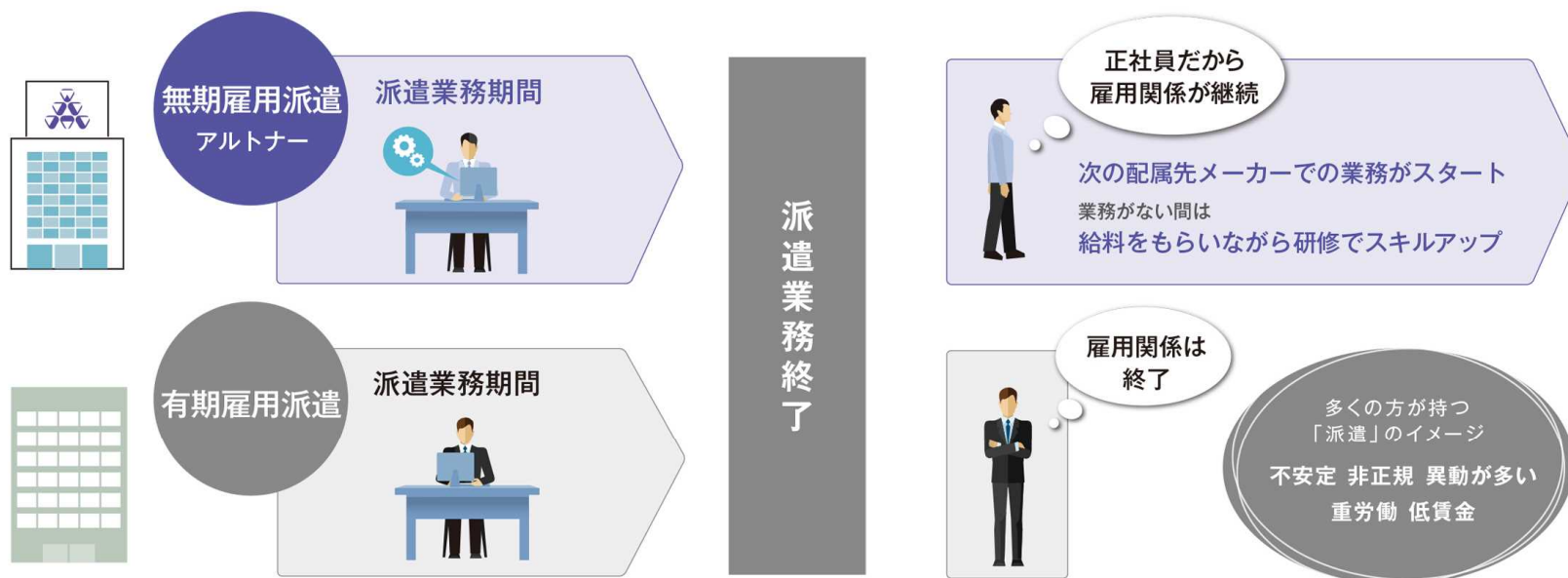
東日本 LC



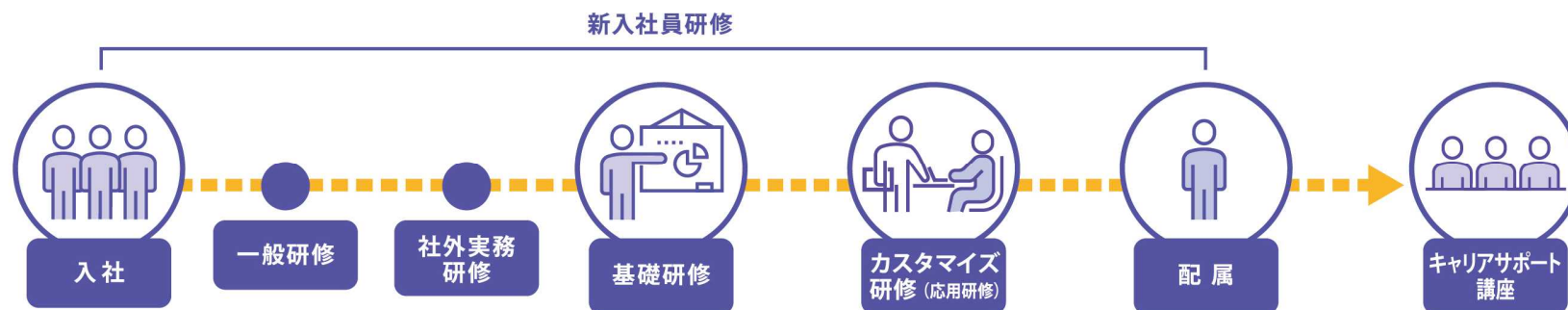
- 理系(工学部、理工学部、理学部、情報工学部)の大学生、大学院生を正社員雇用し、教育・研修を実施後、顧客企業または当社チームに配属
- 研修スタッフは、経験豊富な技術者出身
- 顧客企業は、輸送用機器、電気機器、精密機器メーカー



- アルトナーの雇用形態である「無期雇用派遣」のエンジニアは「正社員雇用」されているので、1つの派遣業務が終了しても雇用関係は継続。



- 入社後は「一般研修」「社外実務研修」「基礎研修」「カスタマイズ研修（応用研修）」というプロセスを経て、メーカーのプロジェクトに配属。配属後も「キャリアサポート講座」により、顧客企業への細やかな対応力を養う。



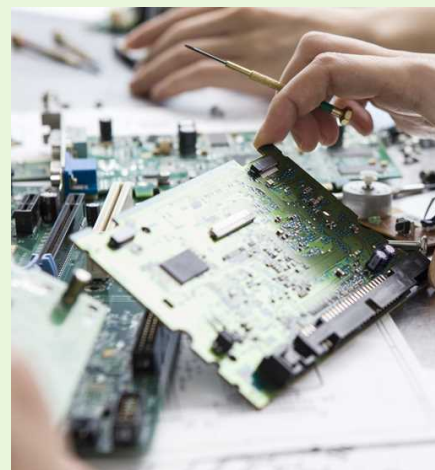


機 械

対応分野

機器装置/機構/
樹脂板金/解析

2D CAD・3D CAD
を使用して、機械
が動く仕組みの設
計を行う。



電気・電子

対応分野

電気機器/
電子回路/半導体

機器や装置の心臓
部となる回路基板
設計、電子系の信
頼性評価業務を行
う。



ソフトウェア

対応分野

制御ソフト

技術開発が進むク
ルマ、IoT機器を
含むCPUを持つ電
子機器を動作させ
るソフトウェアの
開発を行う。



ソフトウェア

対応分野

情報処理

システム・アプリ
開発、Web・オー
プン系のシステム、
パッケージソフト
の開発を行う。

■ 安定した経営のため、幅広い業種の顧客企業と取引。

輸送用機器

SUBARU、トヨタ自動車、日産自動車、本田技術研究所 他

電気機器

オムロン、キヤノン、ダイキンレクザムエレクトロニクス、パナソニック 他

精密機器

島津製作所、テルモ、ニコン 他

機 械

小松製作所、ジェイテクト、瑞光 他

情報・通信

日立ソリューションズ・テクノロジー 他

株式一部・二部上場企業及び優良中堅企業 取引実績約400社

自動車



機 械

- 車体設計開発
- 信頼性試験

電気・電子

- ECUの企画設計
- ワイヤハーネス電源回路

ソフトウェア

- 自動車メーター、カーナビゲーションシステム、ドライブレコーダーの制御ソフト開発

エコカー



機 械

- エコカー充電器の開発
- リチウムイオン電池の開発
- 駆動用モーターの開発

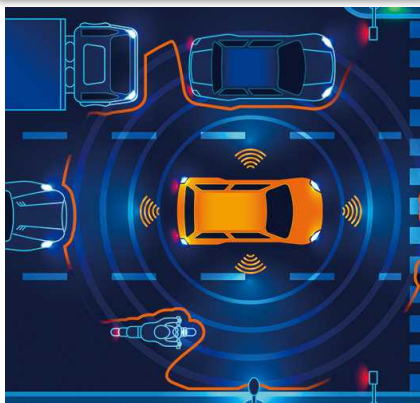
電気・電子

- 次世代燃料電池の研究開発
- ハイブリットシステム設計
- 車載電池の安全性評価

ソフトウェア

- ブレーキ制御システムの開発・評価

先進安全自動車（ASV）



電気・電子

- 駐車支援システム（自動ブレーキ、アクセル制御等）の開発
- レーンキープアシスト（ステアリング補助等）の開発

ソフトウェア

- 安全運転支援システムの研究開発
- カメラ画像による自動周辺監視システムの先行開発

自動二輪車



機 械

- フレームの設計開発
- 外装部品の設計開発
- 電動バイクの設計開発

電気・電子

- 電気配線用ハーネスの設計

ソフトウェア

- ブレーキ開発のためのテストソフトウェア開発
- デジタルメーターのソフトウェア開発

設計開発に関わる製品・システム②

家電機器



機 械

- 白物家電の設計開発（筐体設計、構造設計）
- カーナビゲーションの開発

電気・電子

- スマートフォンの基板の試作・評価・解析
- AV機器の回路設計

ソフトウェア

- エネルギーシステムの開発
- iPhone向けアプリケーション開発

医療機器



機 械

- PETシステム開発
- 輸血・輸液セットの改良、次期セットの設計

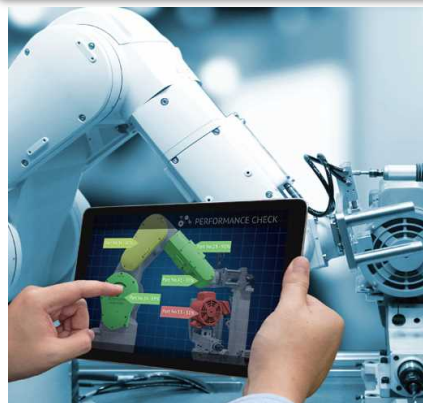
電気・電子

- X線画像処理装置の制御基板の設計開発
- 内臓脂肪測定装置の評価

ソフトウェア

- 歩行アシスト機器の研究開発
- 血液脈波測定器の研究開発

産業機器



機 械

- 作業ロボットの設計開発
- 衛生用品製造ラインの設計
- 工作機械の設計開発

電気・電子

- 半導体露光装置の開発
- 生産設備の設計開発

ソフトウェア

- 半導体装置のアプリケーション開発
- 自動改札機のソフトウェア開発検証

航空宇宙機器



機 械

- 航空機関連の試験治具設計開発
- 旅客用AV機器の開発
- 航空機の設計開発

電気・電子

- 人工衛星に関連する検査装置の開発

ソフトウェア

- 次期人工衛星の研究開発
- 人工衛星の無線通信機のシミュレーター開発・評価

<https://www.artner.co.jp/>

メーカーの業務工程に対応する当社の各グループ

- 上流工程は、景気の影響を受けにくいマーケット
- 設計開発のプロジェクトに重点的に配属(特に自動車メーカー)
- 上流工程への配属結果として、技術者単価が高くなる



成果報酬型の 給与体系



HVグループは、成果報酬型、高水準な報酬のもと、メーカーのトップシークレット且つ、ハイレベルな設計開発を担う。

エリア限定 制度



実務経験3年で、4年目から関東圏、中部圏、関西圏での勤務地のエリア限定が可能。

社内公募 制度



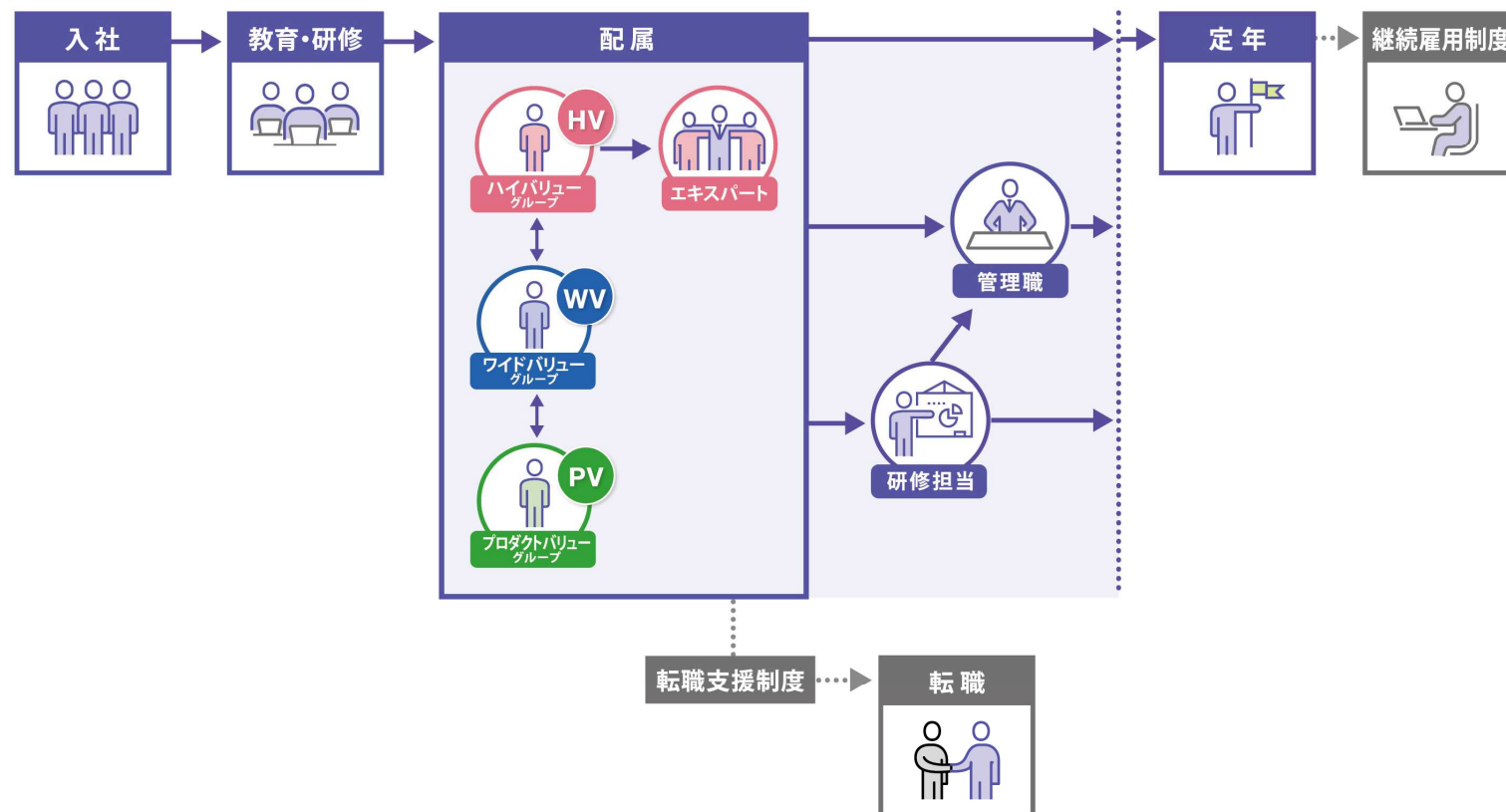
「HVグループ」と「WVグループ」、「WVグループ」と「PVグループ」の間で、所属を変更することが可能。

転職支援 制度



技術者本人が希望して、配属先の顧客メーカーからも要望があった場合、その転職をサポート。また、Uターンで地元に戻って働くための転職をサポート。

- 「ハイレベルな環境でスキルを磨き高報酬を得たい」「地域を限定して働きたい」「地元へUターンしたい」「メーカーに転職したい」等のキャリアパスを用意。



1

会社概要

P3

2

第59期（'21年1月期）第2四半期 決算概要

P19

3

中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期）

P29

4

第59期（'21年1月期）業績予想、配当予想

P35

5

参考資料

P40

市場環境

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、当社の主要顧客であるメーカーは、例年の研究開発予算の水準を維持していく方向を打ち出す。

技術者派遣事業の状況

- 稼働率、技術者単価が前年同期と同水準で推移。
(6月末に一部、契約期間満了あり)
- 稼働人員が前年同期を上回る。
(技術者数が増加、稼働率が前年同期と同水準)
- 労働工数が前年同期を下回る。
(顧客企業から当社の技術者への在宅勤務、シフト勤務、時差出勤等の要請に伴う出勤日数・残業の抑制)

費用の状況

- 採用活動・営業活動において、スタッフのテレワークを推進したことにより、旅費交通費、会議費等が計画比で74百万円減少。

第59期（'21年1月期）第2四半期 業績ハイライト

■ 売上高**8.0%**増、営業利益**11.3%**増、
経常利益**11.1%**増、四半期純利益**11.4%**増。営業利益率**13.0%**

	'20年1月期 第2四半期		'21年1月期 第2四半期		前 年 増減値 (百万円)	前 年 増減率 (%)
	実 績 (百万円)	百分比 (%)	実 績 (百万円)	百分比 (%)		
売上高	3,382	100.0	3,654	100.0	272	8.0
売上原価	2,084	61.6	2,246	61.5	162	7.8
売上総利益	1,298	38.4	1,408	38.5	110	8.5
販管費	870	25.7	932	25.5	62	7.1
営業利益	427	12.6	475	13.0	48	11.3
経常利益	432	12.8	480	13.2	48	11.1
四半期純利益	298	8.8	332	9.1	34	11.4

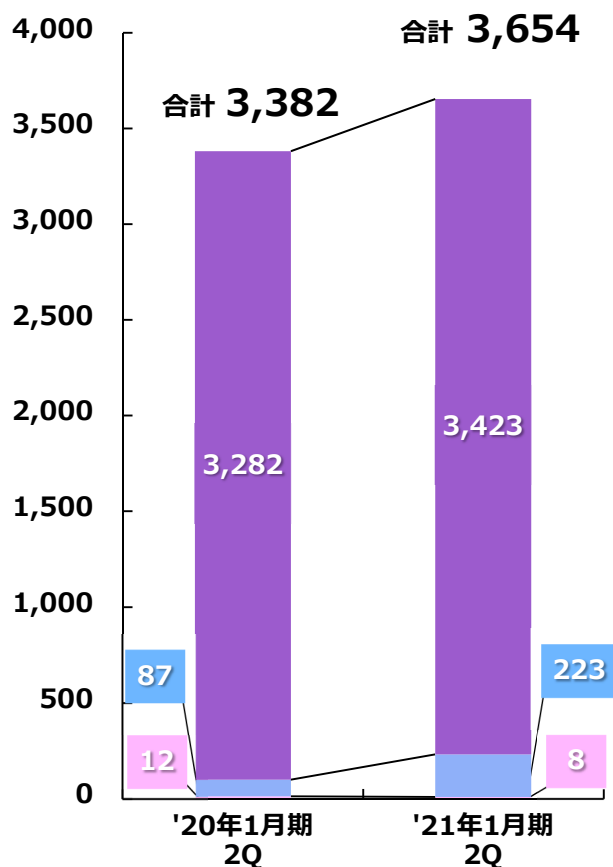
■ 稼働人員の増加
■ 休業補償の取得

■ スタッフのテレワーク
推進により、
旅費交通費、会議費等
が減少

第59期（'21年1月期）第2四半期 事業別 売上高

■ 技術者派遣4.3%増、 ■ 請負・受託154.3%増

単位：百万円

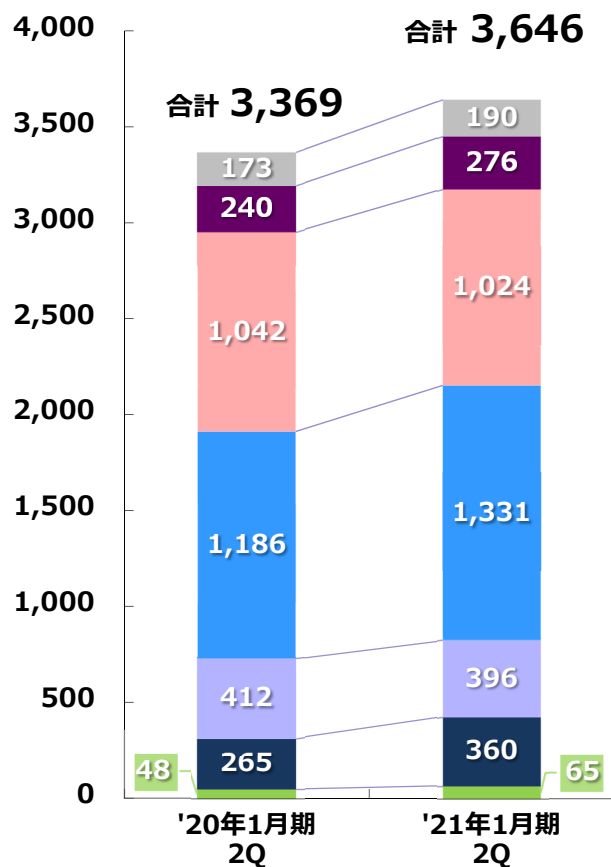


	'20年1月期 第2四半期		'21年1月期 第2四半期		前 年 増減率 (%)	構成比 差 異 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
技 術 者 派 遣	3,282	97.0	3,423	93.7	4.3	▲ 3.4
請 負 ・ 受 託	87	2.6	223	6.1	154.3	3.5
小 計	3,369	99.6	3,646	99.8	8.2	0.1
そ の 他	12	0.4	8	0.2	▲34.8	▲ 0.1
合 計	3,382	100.0	3,654	100.0	8.0	—

第59期（'21年1月期）第2四半期 業種別 売上高

■ 電気機器1.7%減、 ■ 輸送用機器12.2%増、 ■ 情報・通信35.9%増

単位：百万円



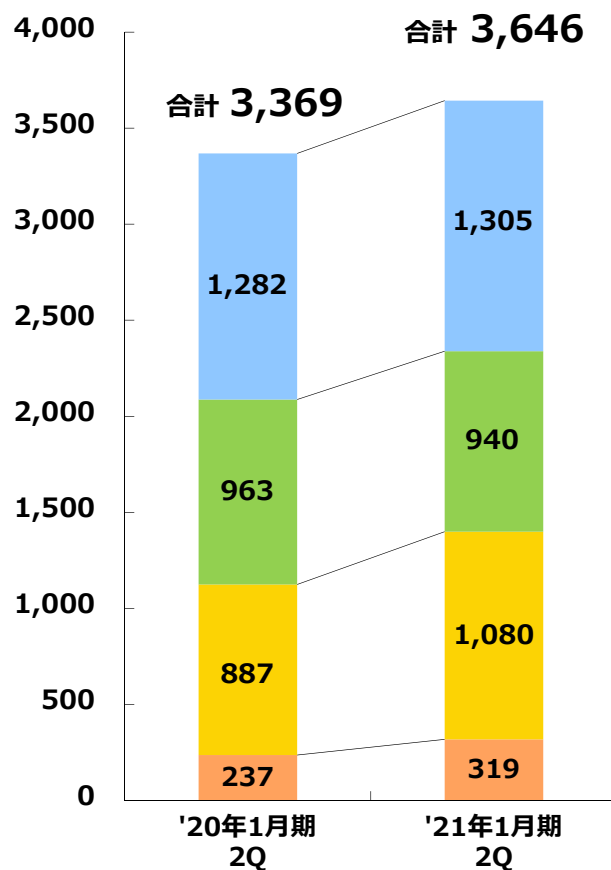
	'20年1月期 第2四半期		'21年1月期 第2四半期		前 年 増減率 (%)	構成比 差 異 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
鉄鋼・非鉄・金属	173	5.1	190	5.2	10.1	0.1
機 械	240	7.1	276	7.6	14.6	0.4
電 気 機 器	1,042	31.0	1,024	28.1	▲ 1.7	▲ 2.8
輸 送 用 機 器	1,186	35.2	1,331	36.5	12.2	1.3
精 密 機 器	412	12.2	396	10.9	▲ 3.7	▲ 1.3
情 報 ・ 通 信	265	7.9	360	9.9	35.9	2.0
諸 業 種	48	1.5	65	1.8	34.5	0.4
合 計	3,369	100.0	3,646	100.0	8.2	—

※「その他」売上除く

第59期（'21年1月期）第2四半期 分野別 売上高

■ 機械1.8%増、 ■ 制御ソフト21.8%増、 ■ 情報処理34.7%増

単位：百万円



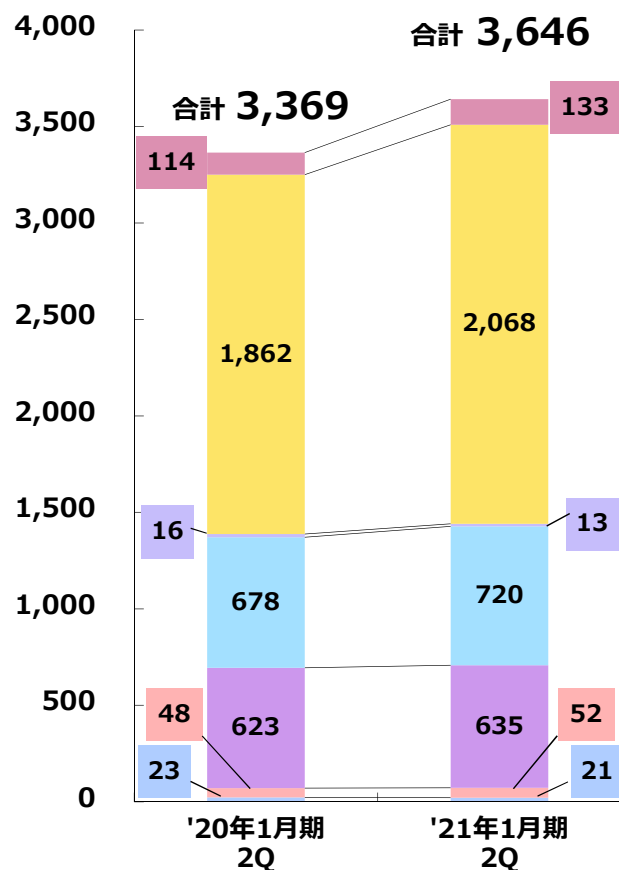
	'20年1月期 第2四半期		'21年1月期 第2四半期		前 年 増減率 (%)	構成比 差 異 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
機 械	1,282	38.1	1,305	35.8	1.8	▲ 2.3
電 気 ・ 電 子	963	28.6	940	25.8	▲ 2.4	▲ 2.8
制 御 ソ フ ト	887	26.3	1,080	29.6	21.8	3.3
情 報 処 理	237	7.0	319	8.8	34.7	1.7
合 計	3,369	100.0	3,646	100.0	8.2	—

※「その他」売上除く

第59期（'21年1月期）第2四半期 地域別 売上高

■ 関東11.0%増、■ 東海6.2%増、■ 近畿2.0%増

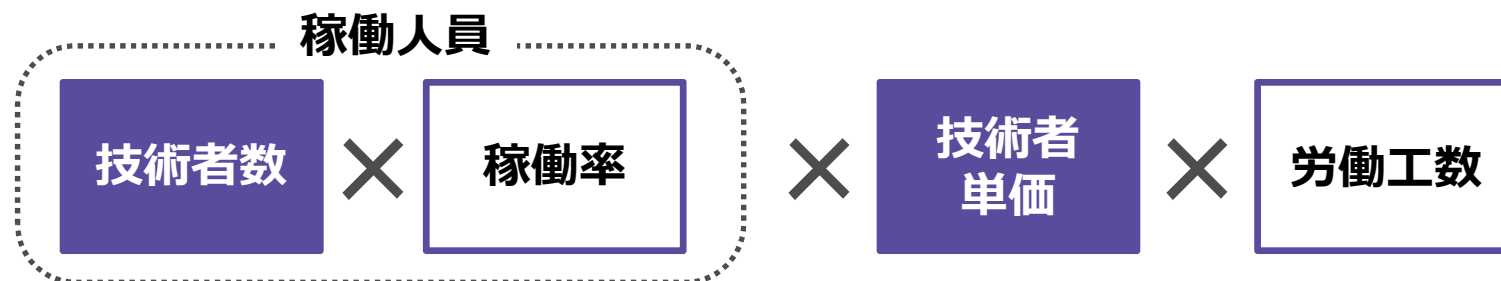
単位：百万円



	'20年1月期 第2四半期		'21年1月期 第2四半期		前 年 増減率 (%)	構成比 差 異 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
東 北	114	3.4	133	3.7	16.2	0.3
関 東	1,862	55.3	2,068	56.7	11.0	1.5
北 陸	16	0.5	13	0.4	▲19.9	▲ 0.1
東 海	678	20.1	720	19.8	6.2	▲ 0.4
近 畿	623	18.5	635	17.4	2.0	▲ 1.1
中 国	48	1.4	52	1.4	7.0	▲ 0.0
九 州	23	0.7	21	0.6	▲10.3	▲ 0.1
合 計	3,369	100.0	3,646	100.0	8.2	—

※「その他」売上除く

■ 売上高



■ 売上原価

顧客企業に配属中の技術者の労務費等

■ 販売管理費

社内にて教育研修（待機）中の技術者の労務費、
スタッフ職の労務費、求人広告費等

利益率向上の2つのポイント

【売上総利益率の向上】

技術者の労務費の圧縮はできないため、1人当たりの技術者単価の上昇が必要。

【営業利益率の向上】

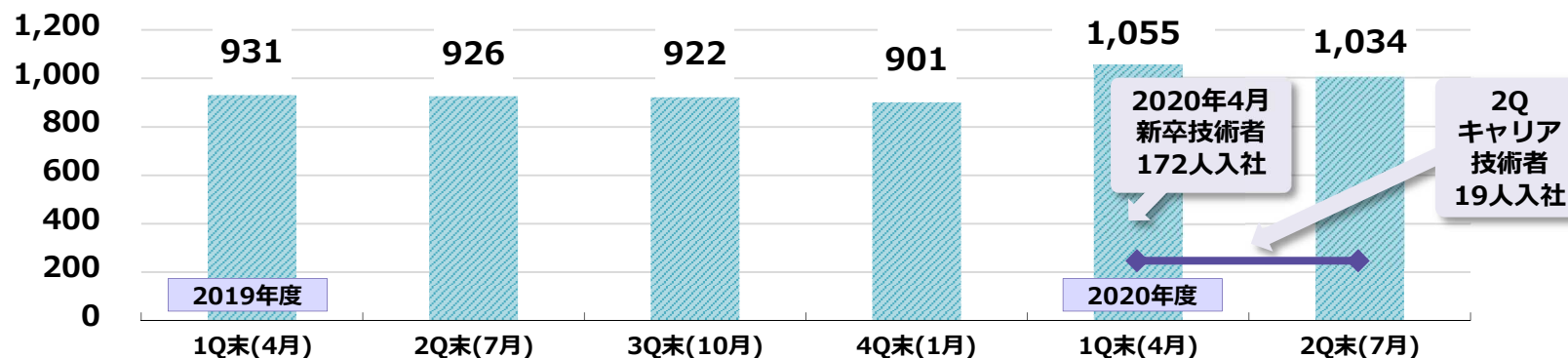
技術者の増員に伴う間接部門の増員を管理効率の向上により抑え、
販管費率の上昇を抑える。

第59期（'21年1月期）第2四半期 期末技術者数／稼働率

期末技術者数

'20年1月期(平均)第2四半期	'21年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(人)	前年増減率(%)
880	996	116	13.2

単位：人

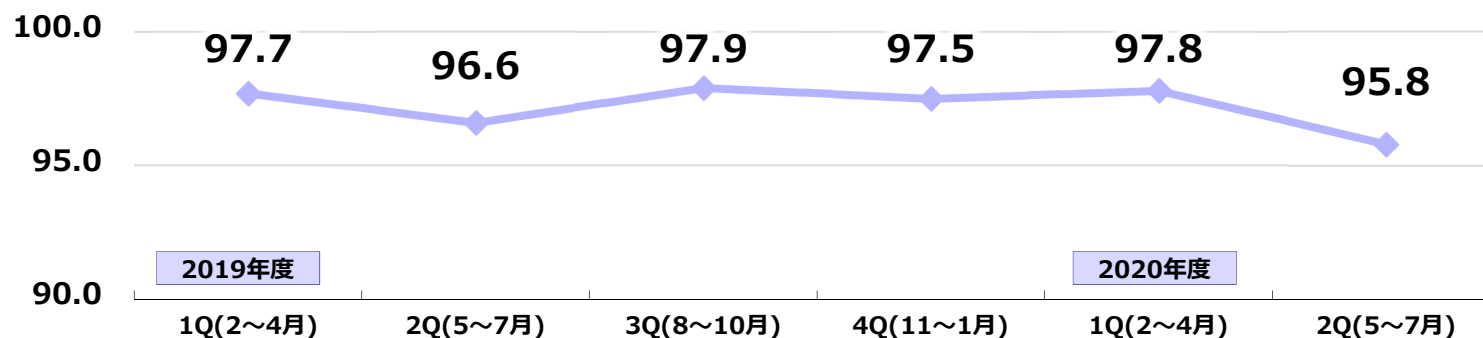


稼働率

※技術者派遣の数値

'20年1月期(平均)第2四半期	'21年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(pt)
97.1	96.8	▲ 0.3

単位：%



※ 新入社員等の期中入社者は、配属までは含んでおりません。

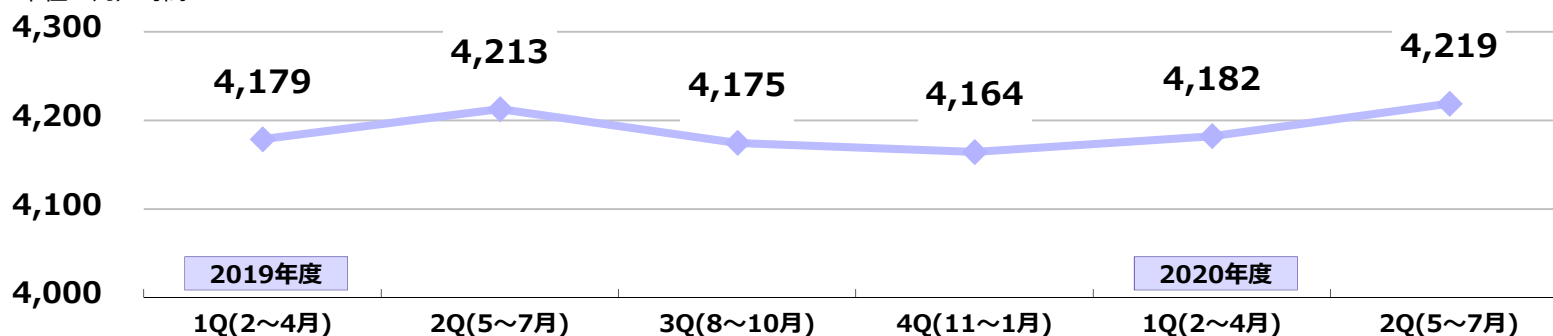
<https://www.artner.co.jp/>

第59期（'21年1月期）第2四半期 技術者単価／労働工数

技術者単価

※技術者派遣の数値 ※1人当たり
単位：円／時間

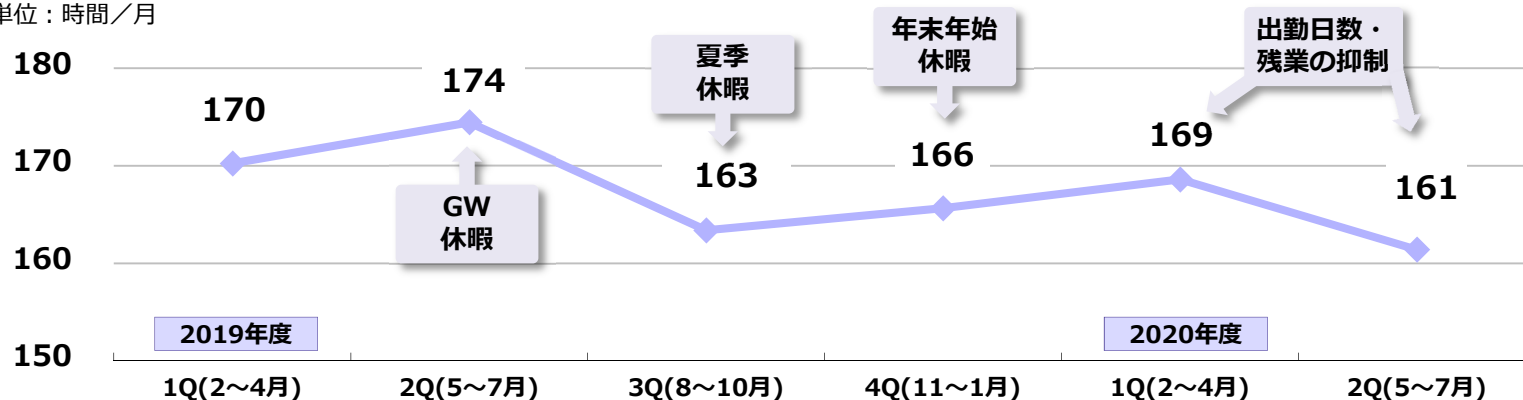
'20年1月期(平均)第2四半期	'21年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(円)	前年増減率(%)
4,196	4,200	4	0.1



労働工数

※技術者派遣の数値 ※1人当たり
単位：時間／月

'20年1月期(平均)第2四半期	'21年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(h)	前年増減率(%)
172	165	▲ 7	▲ 4.3



- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 会社概要 | P3 |
| 2 | 第59期（'21年1月期）第2四半期 決算概要 | P19 |
| 3 | 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） | P29 |
| 4 | 第59期（'21年1月期）業績予想、配当予想 | P35 |
| 5 | 参考資料 | P40 |

基本方針

『 持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する 』
『 Make Value ! For the Next 2020-2022 』

基本施策

1 セグメント戦略の推進

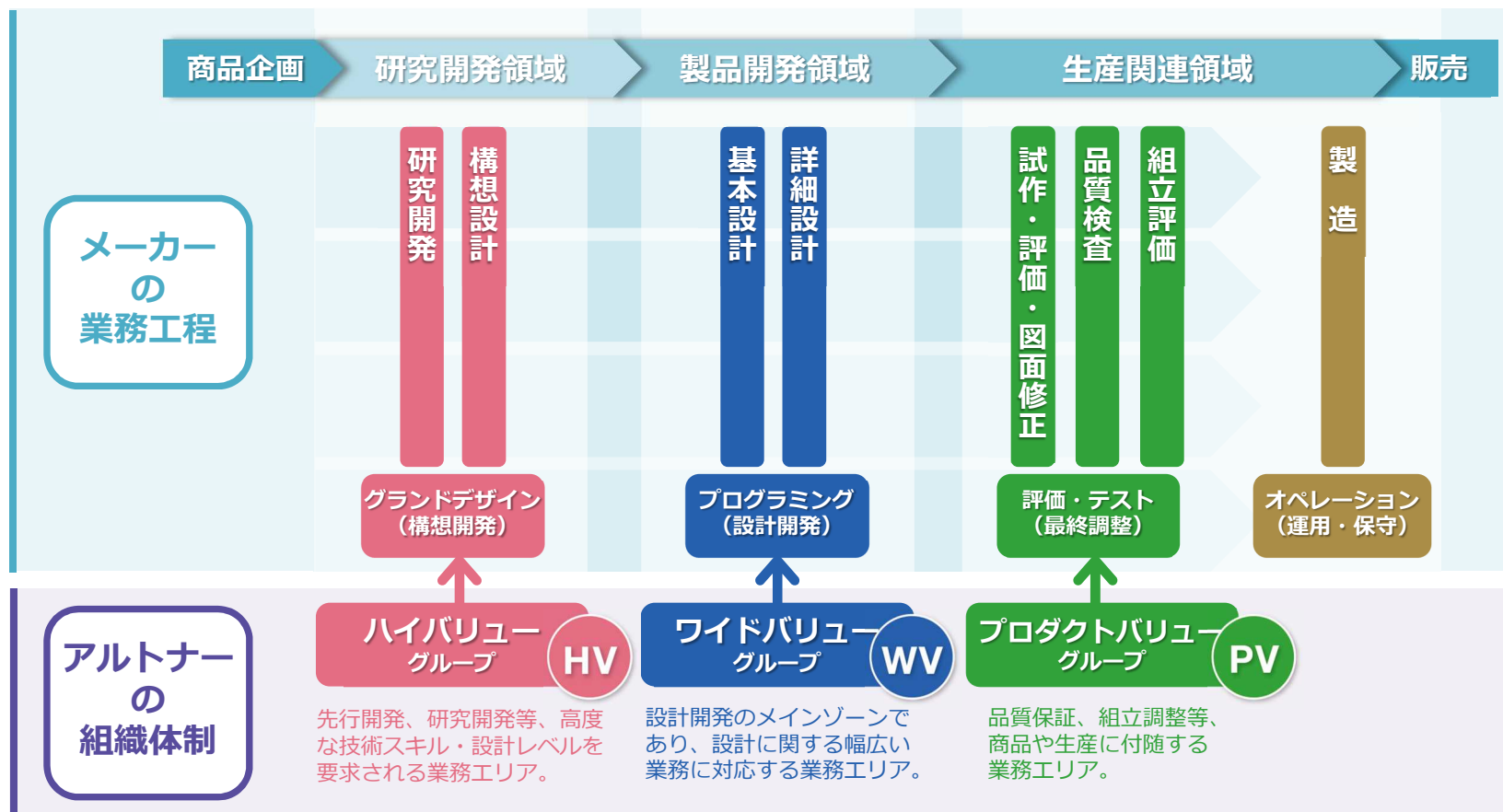
- セグメント別戦略の構築
（採用-教育-配属-制度）
- セグメント別マーケットへの対応の確立
- 新たな専門技術領域の開拓・模索

2 多種多様な人材活用の推進

- シニア・女性・外国人労働者
（留学生）の人材活用
- 協力会社の活用・組織化
（請負・受託体制の確立）

セグメント別マーケットへの対応

- 顧客企業のニーズ、モノづくりの工程での多様化する業務領域に対応するため、3つにセグメント化した戦略を推進し、精度の高いマッチングを実現。



経営数値目標〈2023年1月期（最終年度）業績目標〉

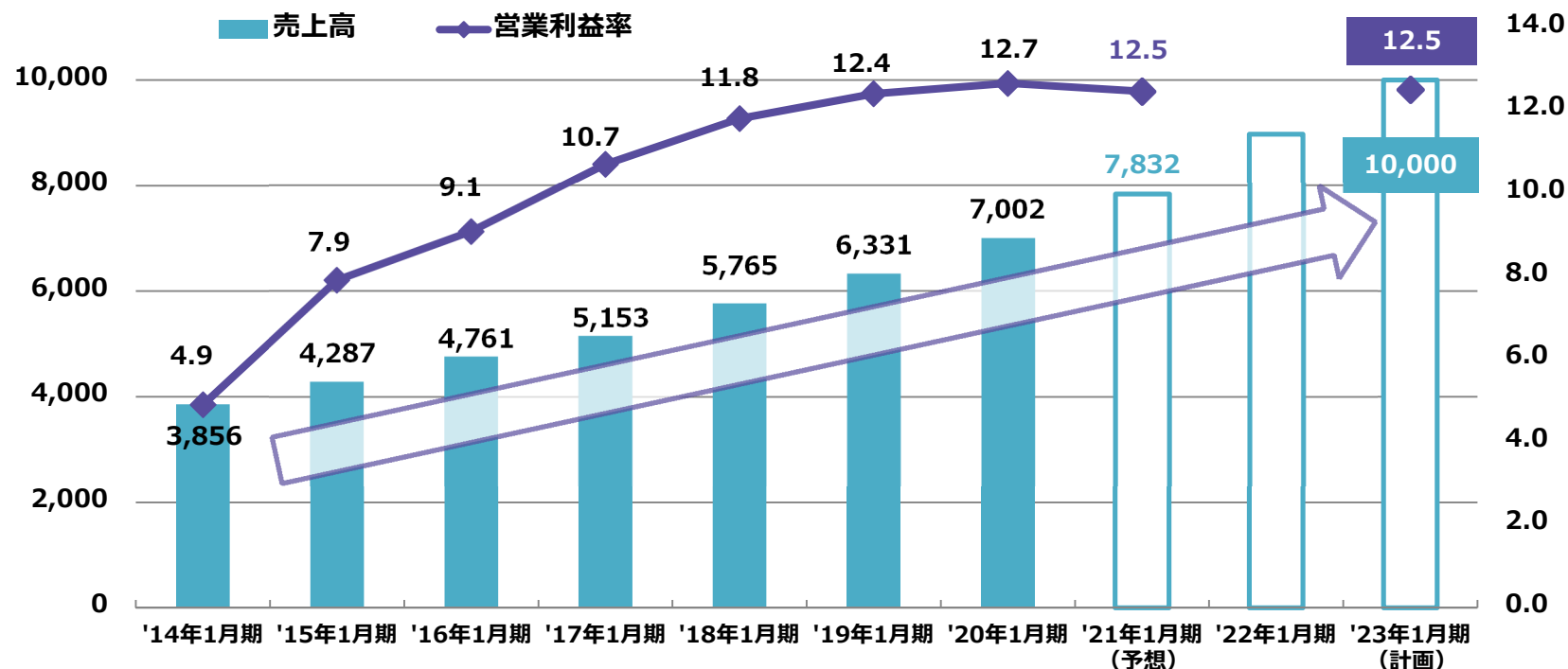
売上高

100 億円

営業利益率

12.5 %

単位：百万円／%



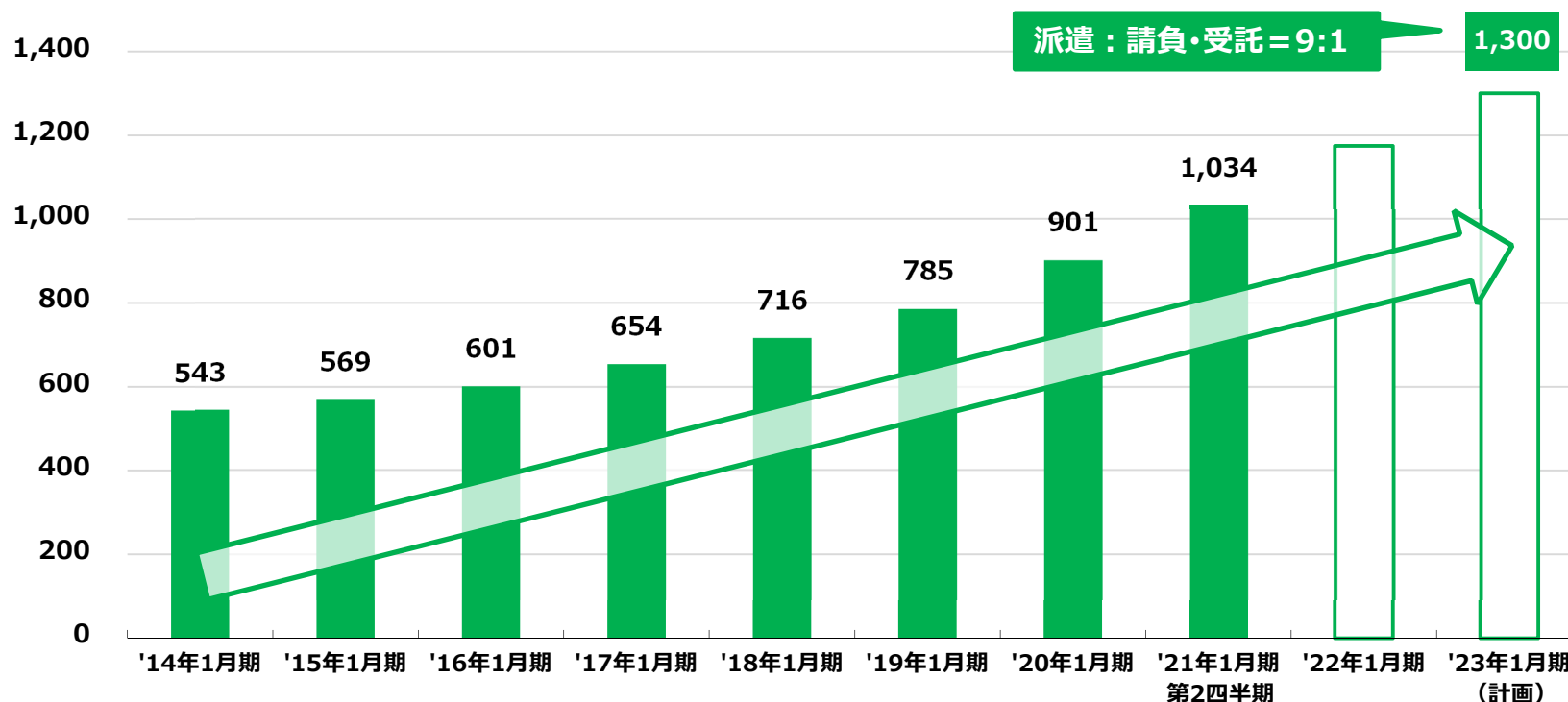
現時点では、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を見通すことが困難なため、上記の中期経営計画の業績目標、次ページ以降の重要指標には、その影響を織り込んでおりません。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

経営数値目標〈2023年1月期（最終年度）重要指標〉

技術者数

1,300 人

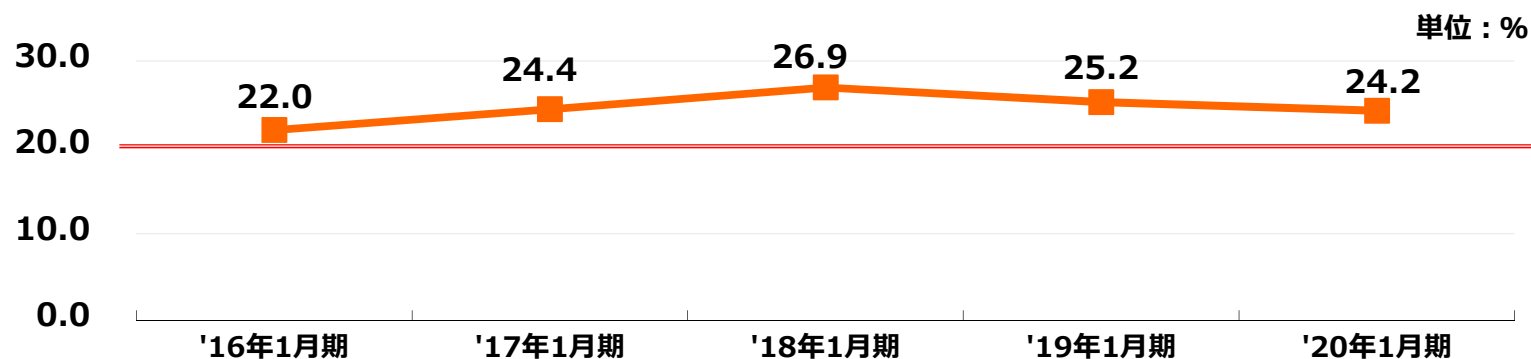
期末時点／単位：人



経営数値目標〈2023年1月期（最終年度）重要指標〉

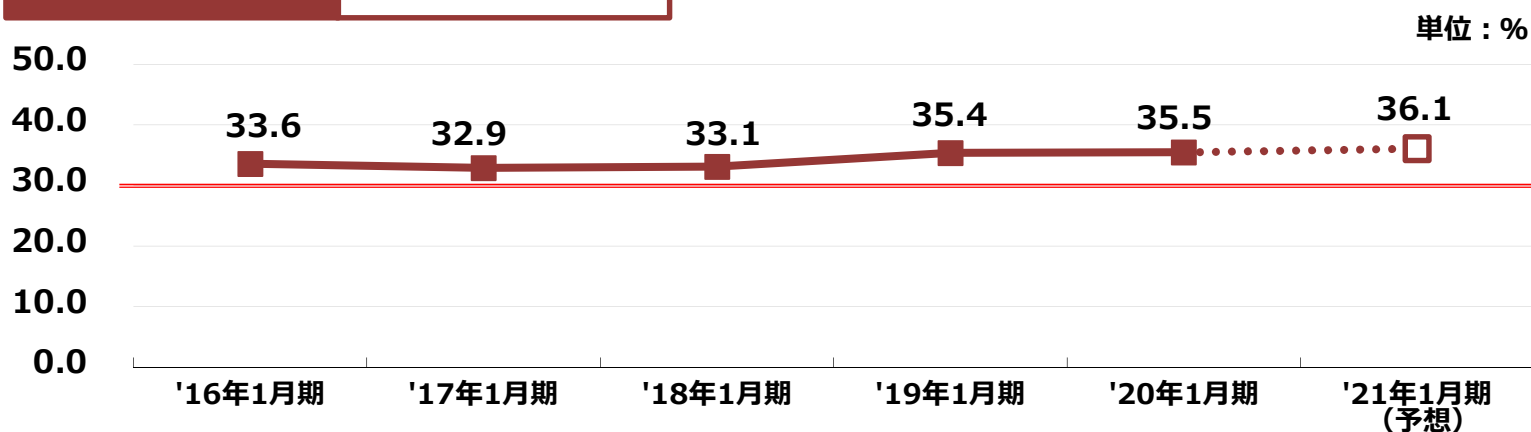
ROE

20 %以上



配当性向

30 %以上



- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 会社概要 | P3 |
| 2 | 第59期（'21年1月期）第2四半期 決算概要 | P19 |
| 3 | 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） | P29 |
| 4 | 第59期（'21年1月期）業績予想、配当予想 | P35 |
| 5 | 参考資料 | P40 |

- ・新型コロナウイルス感染症の収束時期、経済活動・社会活動の回復速度の予測が困難。
- ・顧客企業において、先行開発のニーズはあるものの、投資予算は不透明な状況が継続。

直近2020年7月(実績)、8月(見込)の主要指標の計画比

	7月(実績)(pt)(%)	8月(見込)(pt)(%)	
稼働率	▲ 5.1	▲ 4.6	一部のプロジェクトが、6月末で契約期間満了のため、計画比で減少。
技術者単価	2.9	2.3	単価交渉の結果、計画比で微増。
労働工数	▲ 1.2	▲ 5.1	顧客企業からの在宅勤務、シフト勤務、時差出勤等の要請に伴う出勤日数・残業の抑制により計画比で減少。

既存技術者の配属状況

直近の契約の切れ目は9月末。10月からの契約更新、契約単価の改定等の進捗状況を慎重に見極めている。

2020年4月入社の新卒技術者の配属状況

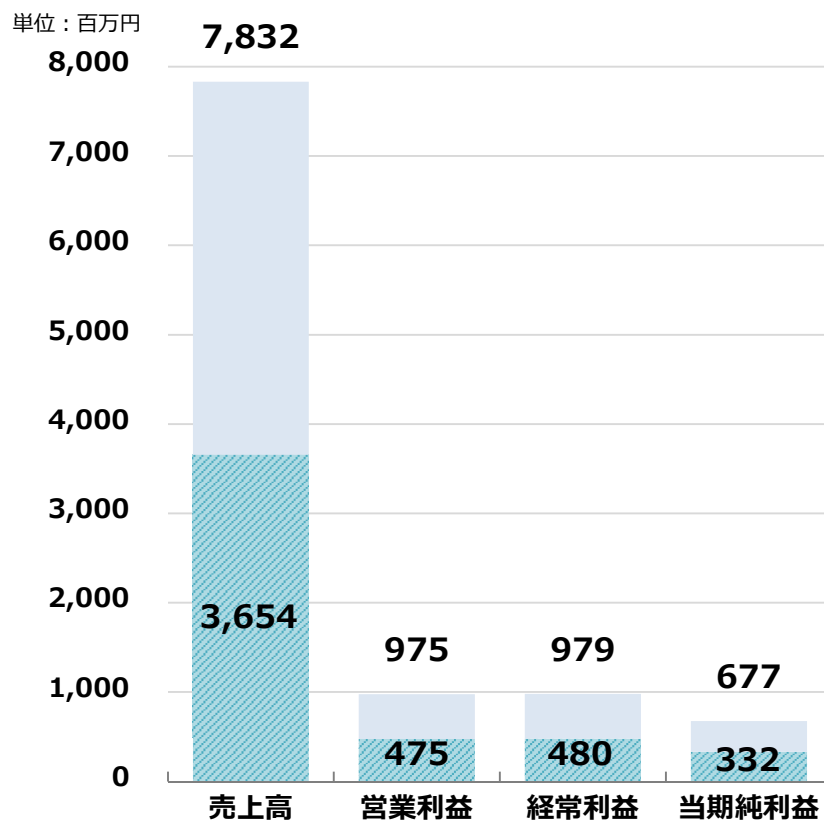
例年6月から配属が本格化。本年は、計画対比で配属の遅れが見込まれる。
(計画上、全社売上高における新卒技術者の売上高の割合は約7%)



業績への影響を現時点で合理的に算出することが困難なため、3/13開示の2021年1月期 業績予想を据え置き。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示。

第59期（'21年1月期）第2四半期 業績予想の進捗

■ 業績予想(通期)に対して、第2四半期実績の進捗率は、
売上高**46.7%**、営業利益**48.7%**、経常利益**49.1%**、当期純利益**49.1%**



	'21年1月期 第2四半期		
	実績 (百万円)	百分比 (%)	業績予想 (通期)進捗率 (%)
売上高	3,654	100.0	46.7
営業利益	475	13.0	48.7
経常利益	480	13.2	49.1
当期純利益	332	9.1	49.1

	'21年1月期 業績予想	
	通期 (百万円)	百分比 (%)
売上高	7,832	100.0
営業利益	975	12.5
経常利益	979	12.5
当期純利益	677	8.6

第59期（'21年1月期）配当予想

- 今期中間配当は、配当予想通り**11.5円**。
 期末配当は**11.5円**を予定し、年間配当金は**23.0円**を予定。

	年間配当金 (円)			配当 利回り (%)	配当 性向 (%)	純資産 配当率 (DOE) (%)
	中間	期末	計			
'20年1月期	10.00	10.50	20.50	2.48	35.5	8.6
'21年1月期 (予想)	11.50	11.50	23.00	2.81	36.1	

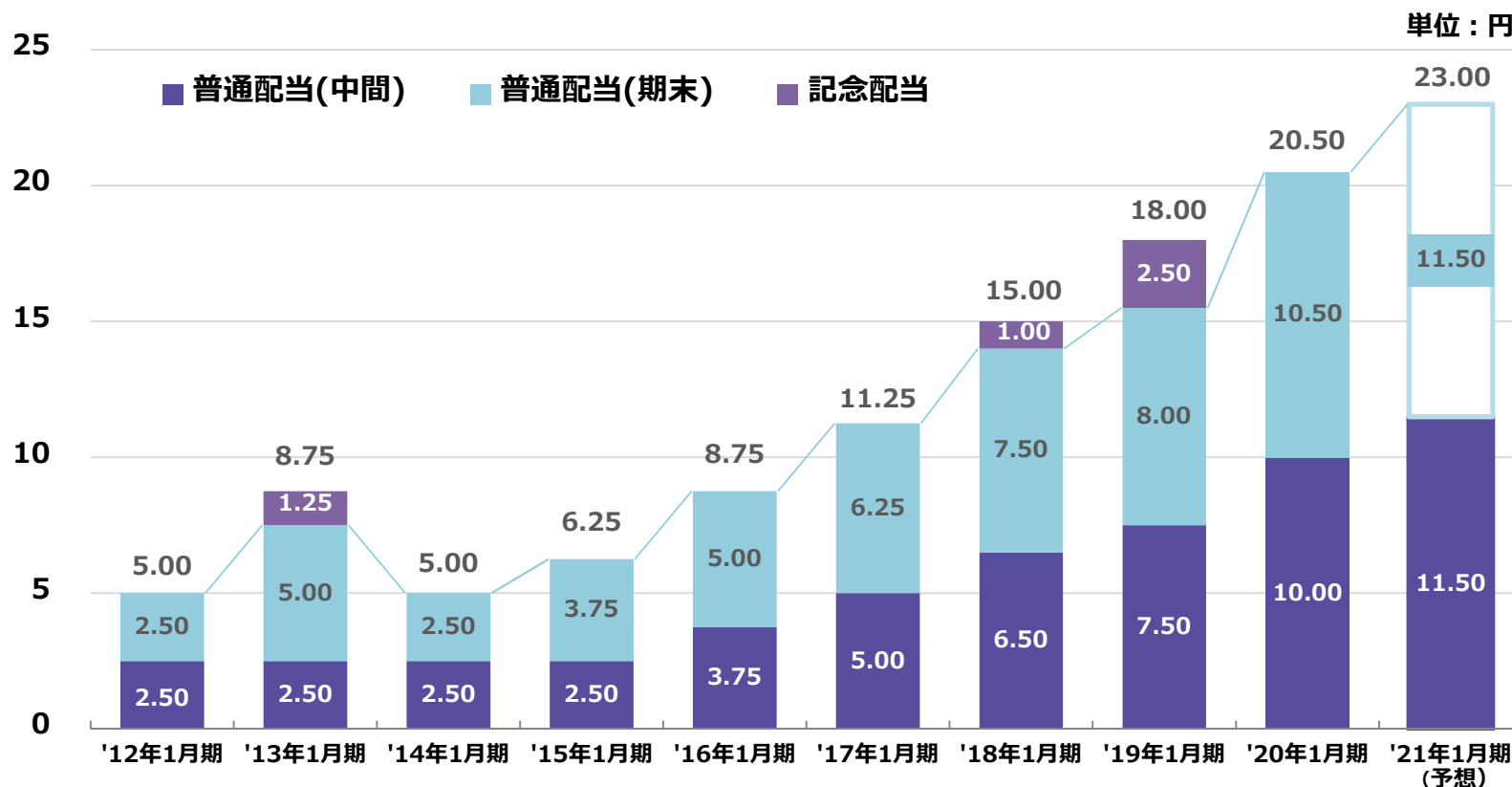
※配当利回り（％）＝1株当たり個別配当金(合計)÷株価(期末/終値)×100

'20年1月期 期末(2020年1月31日)終値 **826 円**

'21年1月期 第2四半期 期末(2020年7月31日)終値 **819 円**

1株当たり年間配当金 推移

■ 株主・投資家の皆様に安定的な配当を実施することを経営の最重要課題と位置づけ。



※1株当たり配当金は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2017年2月1日(1株を2株に分割)／2018年4月1日(1株を2株に分割)

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 会社概要 | P3 |
| 2 | 第59期（'21年1月期）第2四半期 決算概要 | P19 |
| 3 | 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） | P29 |
| 4 | 第59期（'21年1月期）業績予想、配当予想 | P35 |
| 5 | 参考資料 | P40 |

基本 方針

お客様、従業員、その家族、お取引先及びその他関係者の皆様の安全確保。
新型コロナウイルスの感染拡大防止並びに事業継続。

採用部門



採用目標数値の達成のため、Web会社説明会、Web面接等を実施。
学生の会社説明会の参加者数は、例年を上回る。

営業部門



既存技術者の契約更新、新卒技術者の配属のため、Web会議ツールにてお客様と交渉。
在宅勤務の技術者フォローを実施。

教育部門



新卒技術者の出社をシフト制として、在宅研修時に知識を向上させ、それを基に出社時に実習課題を行う。例年以上に自主性を重んじた基礎・応用研修を実施。

管理部門

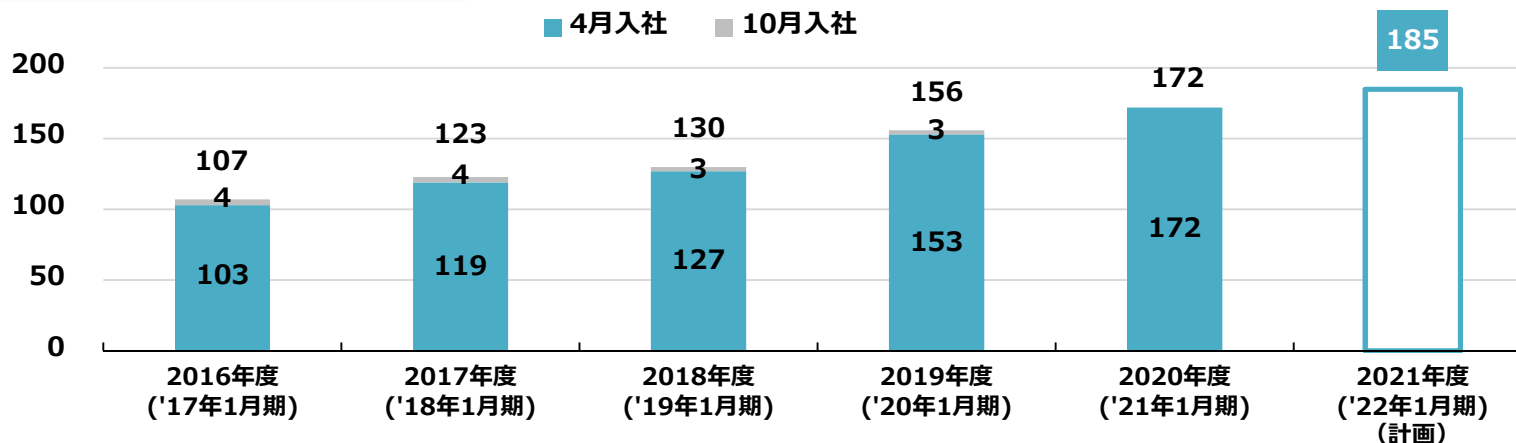


テレワーク(在宅勤務)、シフト勤務、時差出勤等の対応を実施。業務効率化の推進。

第58期（'20年1月期）技術者の採用人数／離職率

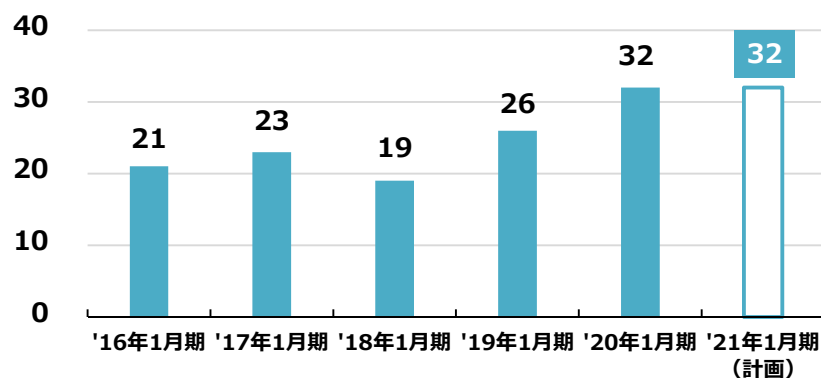
新卒技術者

単位：人



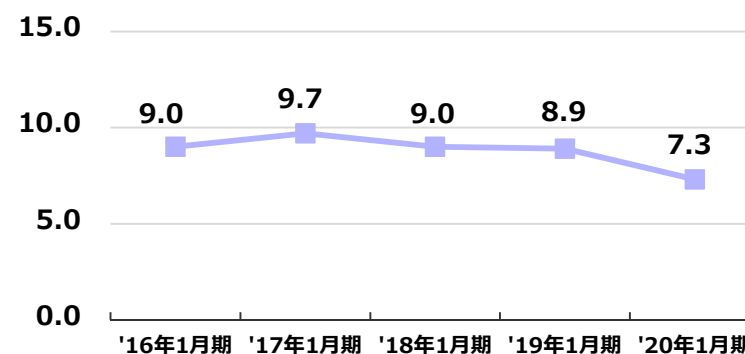
キャリア技術者

単位：人



離職率

単位：%



第58期（'20年1月期）決算概要 顧客企業 売上高上位10社

■ 売上高 上位10社（敬称略）

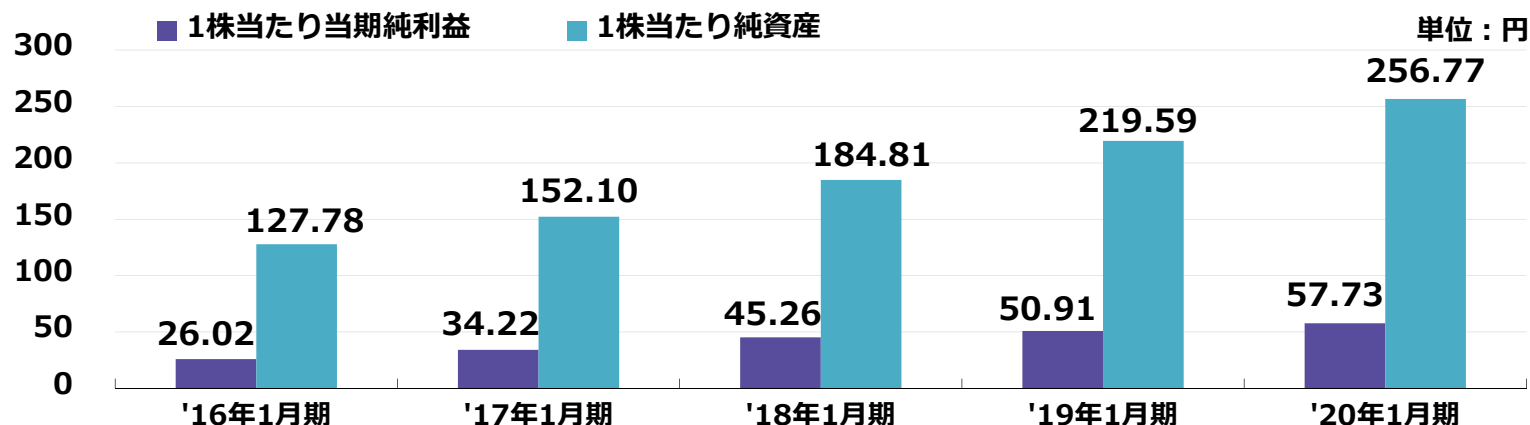
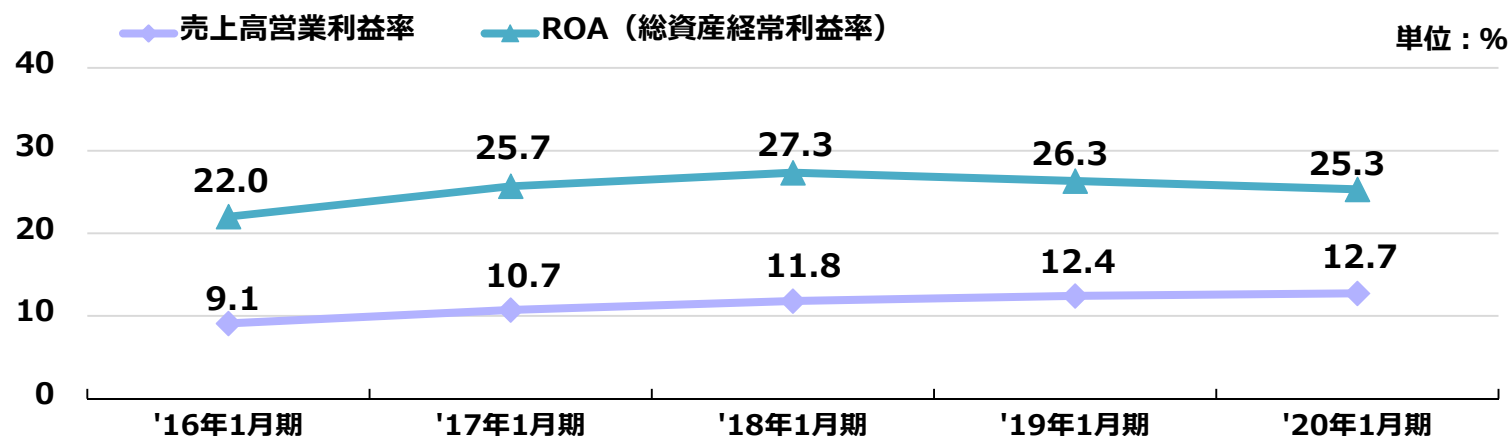
	'19年1月期		'20年1月期	
	顧客企業	業 種	顧客企業	業 種
1	本田技術研究所	輸送用機器	本田技術研究所	輸送用機器
2	ニコン	精密機器	ニコン	精密機器
3	パナソニック	電気機器	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属
4	テルモ	精密機器	テルモ	精密機器
5	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属	パナソニック	電気機器
6	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器
7	ジェイテクト	機械	デンソーテン	電気機器
8	ケーヒン	輸送用機器	ジェイテクト	機械
9	日立オートモティブシステムズ	輸送用機器	ダイキンレクザムエレクトロニクス	電気機器
10	ダイキンレクザムエレクトロニクス	電気機器	ケーヒン	輸送用機器

■ 10社ごとの売上高

		'19年1月期		'20年1月期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
		実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
上位10社	計	3,158	50.1	3,332	47.7	5.5	▲2.3
上位11社~20社	計	825	13.1	890	12.8	8.0	▲0.3
上位10社	計	660	10.5	583	8.4	▲11.7	▲2.1
上位10社	計	1,665	26.4	2,175	31.2	30.6	4.8
合計		6,310	100.0	6,981	100.0	10.6	-

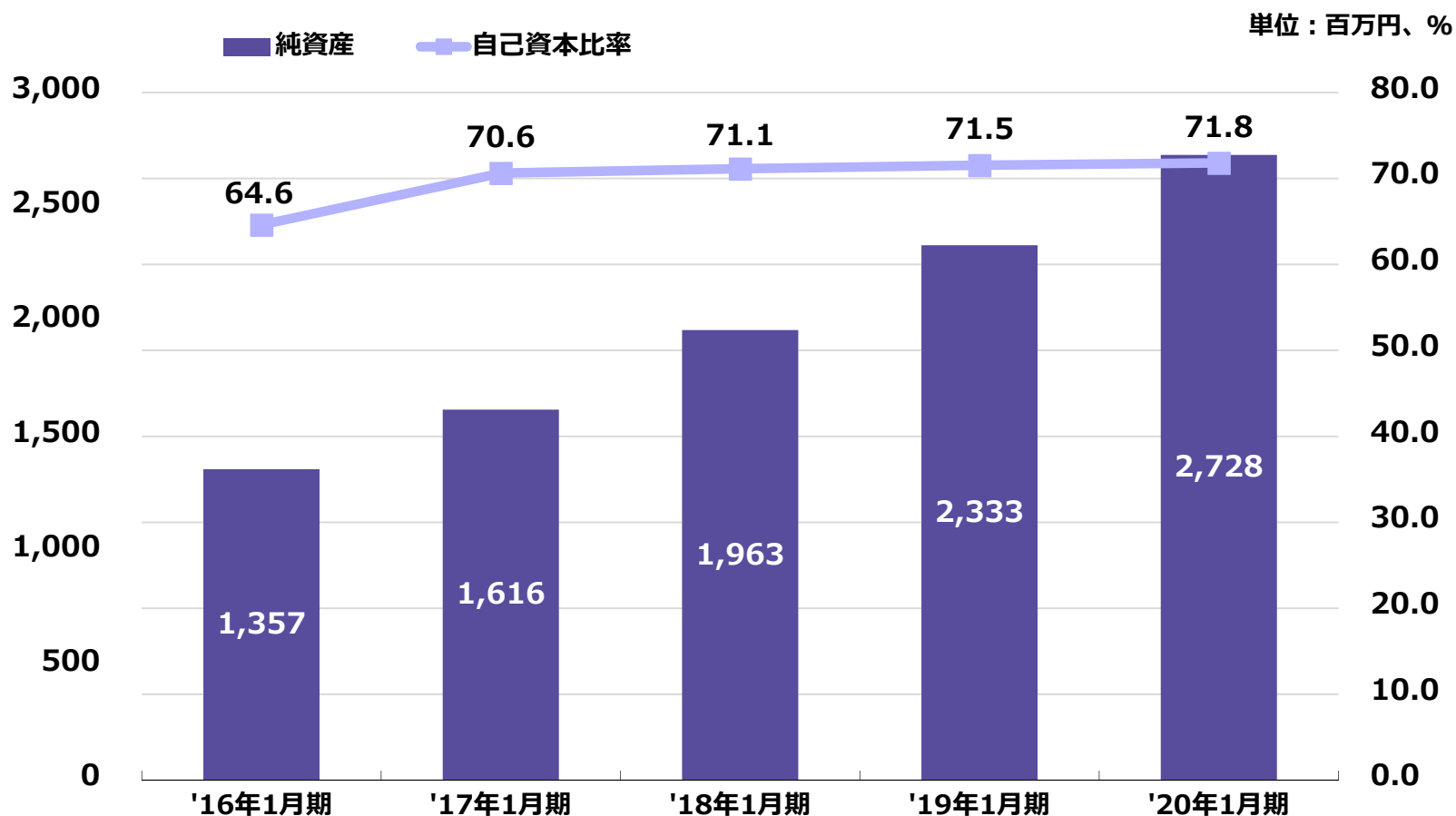
※「その他」売上除く

売上高営業利益率/ROA/1株当たり当期純利益・純資産 推移



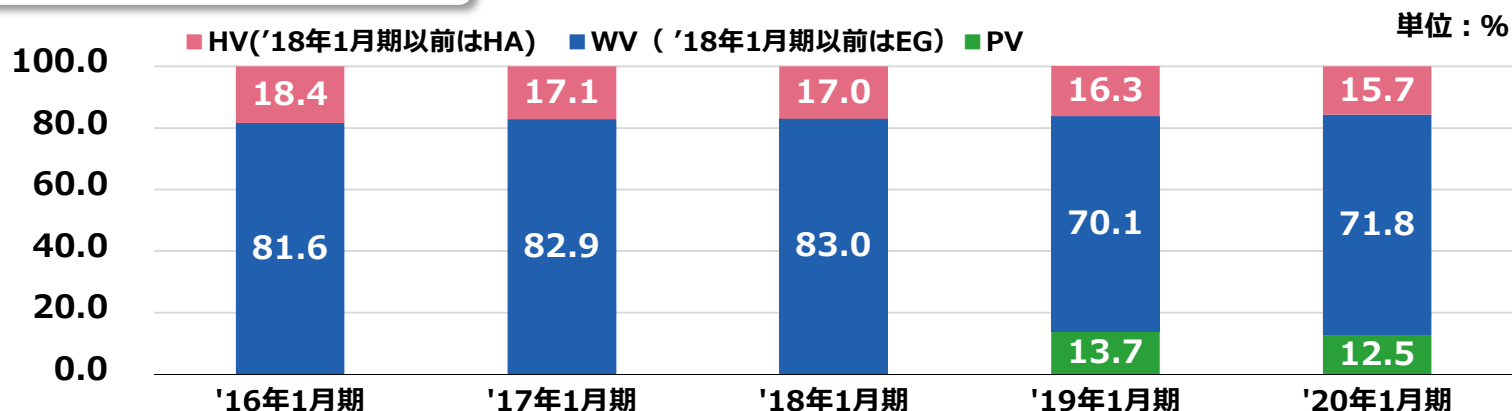
※1株当たり当期純利益、純資産は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2017年2月1日(1株を2株に分割)/2018年4月1日(1株を2株に分割)

純資産／自己資本比率 推移

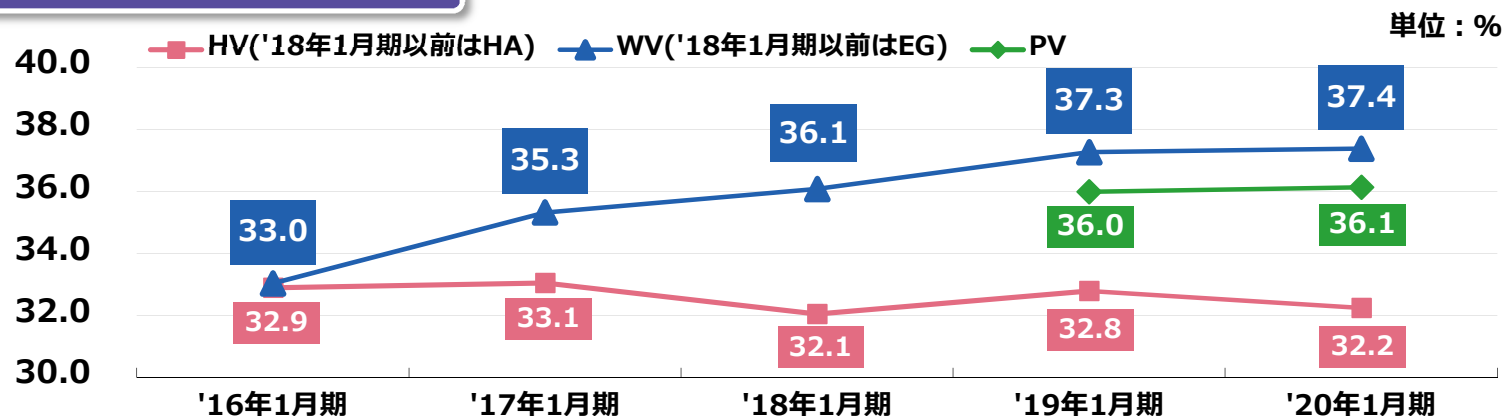


HV(旧HA),WV(旧EG),PV別 技術者の構成比/売上総利益率

技術者の構成比



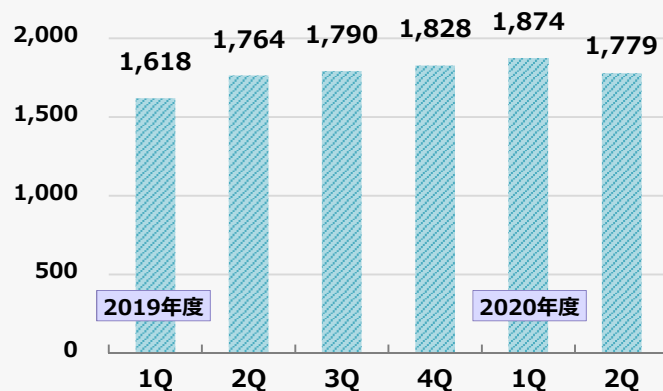
売上総利益率(技術者派遣)



四半期（会計期間）業績推移

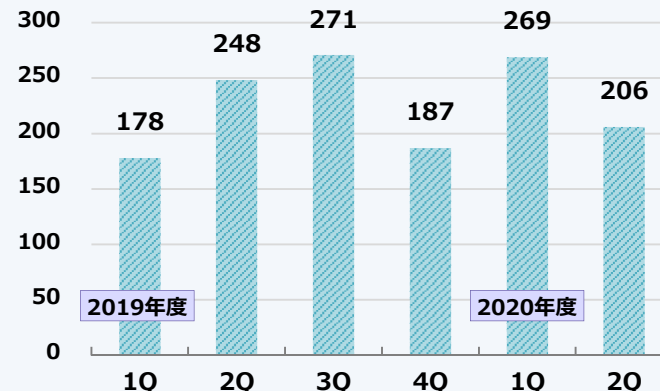
売上高

単位：百万円



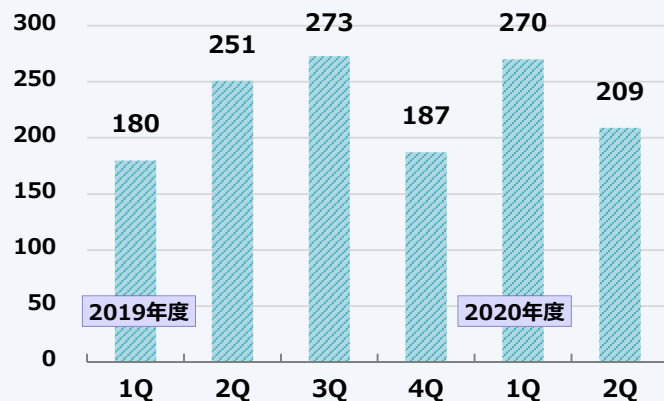
営業利益

単位：百万円



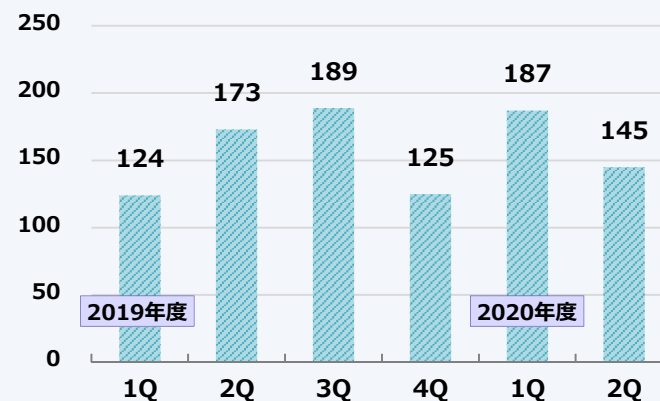
経常利益

単位：百万円



四半期純利益

単位：百万円



四半期（会計期間）業績推移 数値

2021年1月期

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)
売上高	1,874	100.0	15.8	23.9	1,779	100.0	0.9	22.7								
売上原価	1,147	61.2	14.1		1,099	61.8	1.9									
売上総利益	727	38.8	18.7		680	38.2	▲ 0.7									
販管費	458	24.5	5.6		474	26.6	8.6									
営業利益	269	14.4	50.5	27.6	206	11.6	▲17.0	21.1								
経常利益	270	14.4	49.9	27.6	209	11.8	▲16.7	21.4								
四半期純利益	187	10.0	50.3	27.7	145	8.2	▲16.5	21.4								

※① 業績予想(通期)における四半期ごとの構成比

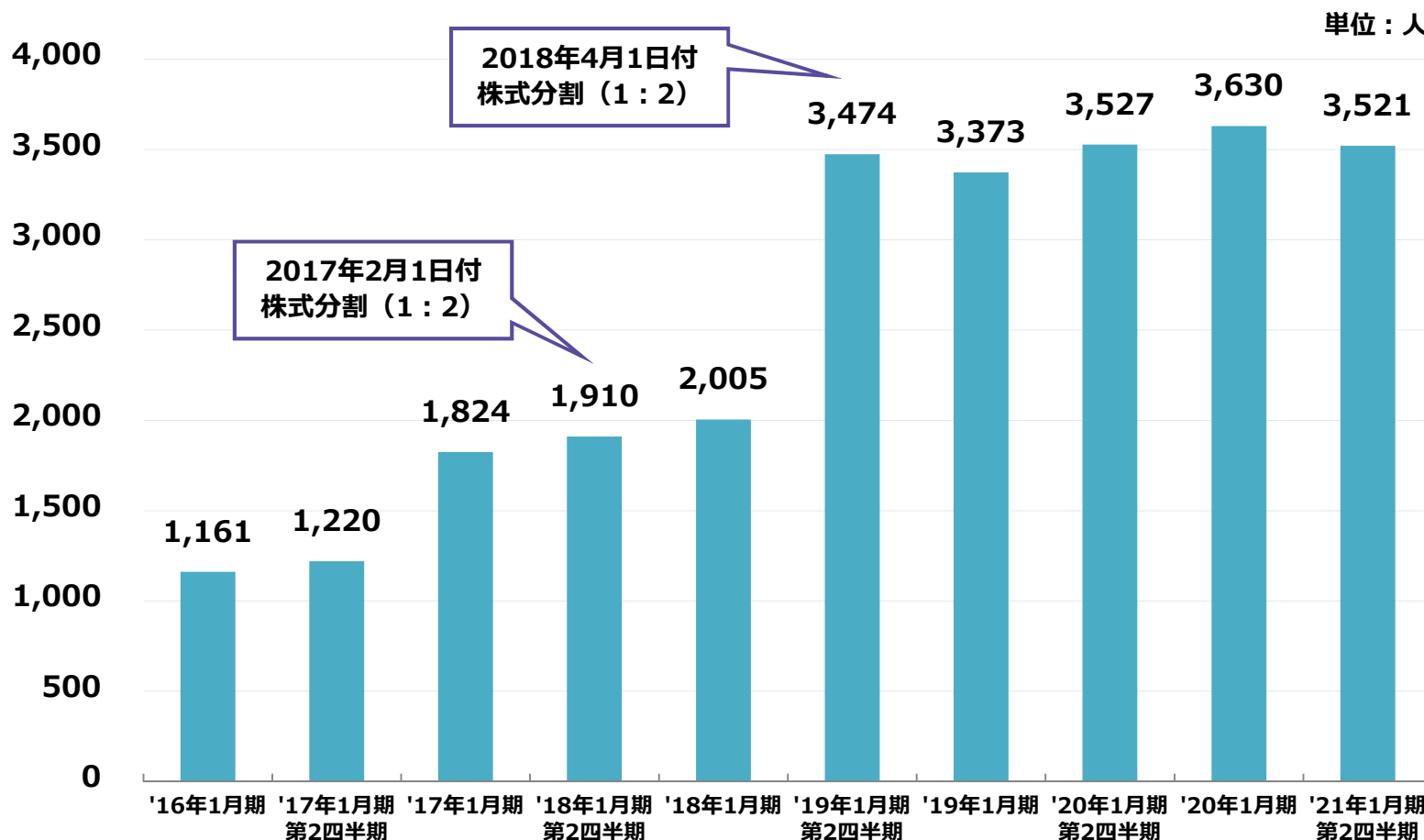
2020年1月期

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)
売上高	1,618	100.0	7.9	23.1	1,764	100.0	11.3	25.2	1,790	100.0	9.3	25.6	1,828	100.0	13.7	26.1
売上原価	1,005	62.1	8.8	22.5	1,078	61.2	9.8	24.2	1,148	64.1	6.6	25.7	1,229	67.2	17.1	27.5
売上総利益	613	37.9	6.6	24.1	685	38.8	13.7	27.0	642	35.9	14.3	25.3	599	32.8	7.3	23.6
販管費	434	26.8	17.4	26.2	436	24.7	5.6	26.4	371	20.7	5.5	22.4	412	22.6	9.1	24.9
営業利益	178	11.1	▲ 12.9	20.2	248	14.1	31.4	28.1	271	15.1	29.0	30.6	187	10.2	3.7	21.1
経常利益	180	11.2	▲ 12.8	20.2	251	14.3	29.6	28.2	273	15.3	29.2	30.6	187	10.3	3.7	21.0
四半期純利益	124	7.7	▲ 12.5	20.3	173	9.9	30.4	28.3	189	10.6	30.3	30.9	125	6.9	4.8	20.5

※② 通期業績における四半期ごとの構成比

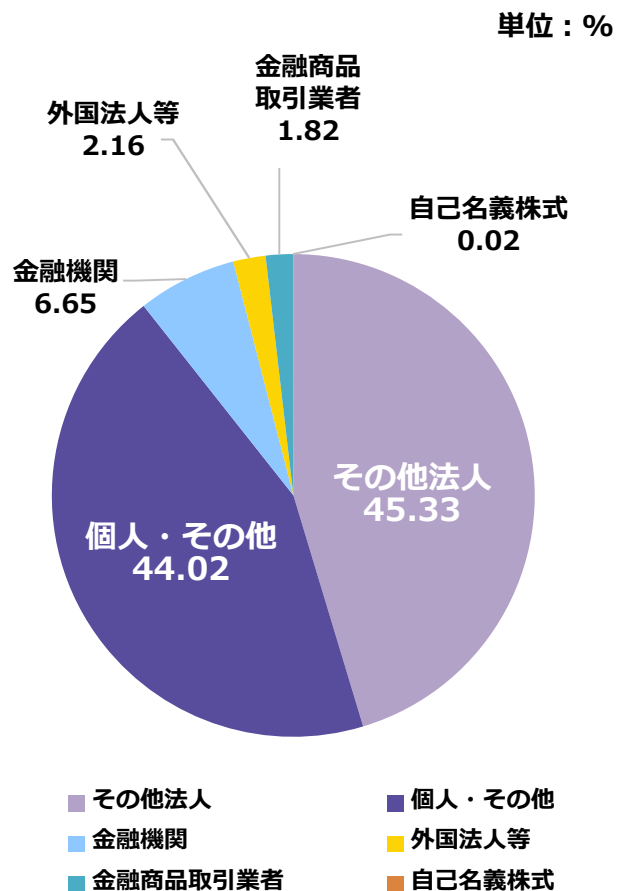
<https://www.artner.co.jp/>

期末株主数 推移

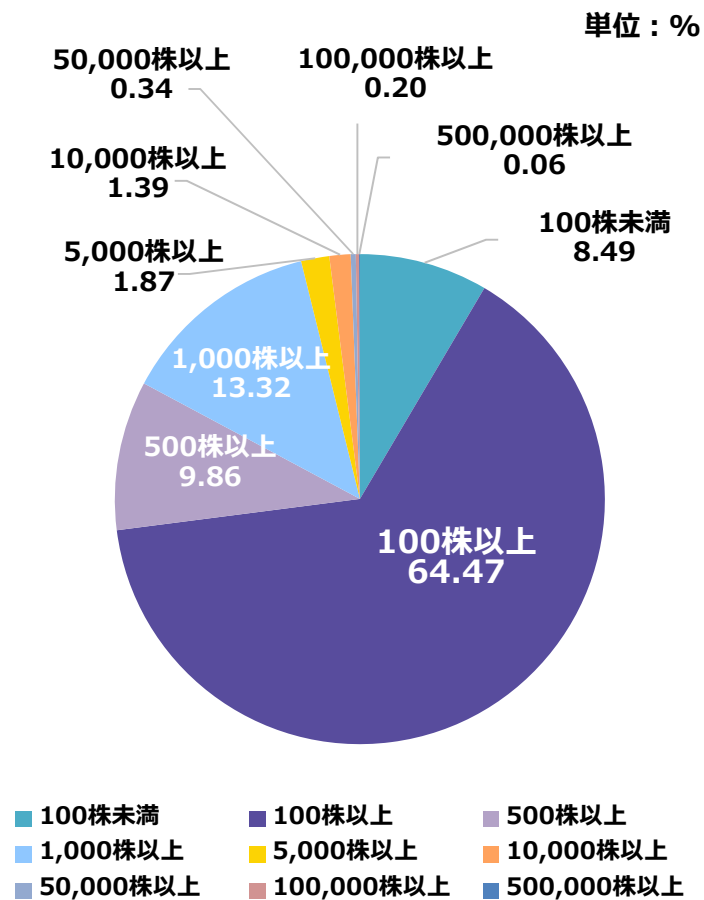


株主構成（2020年7月31日現在）

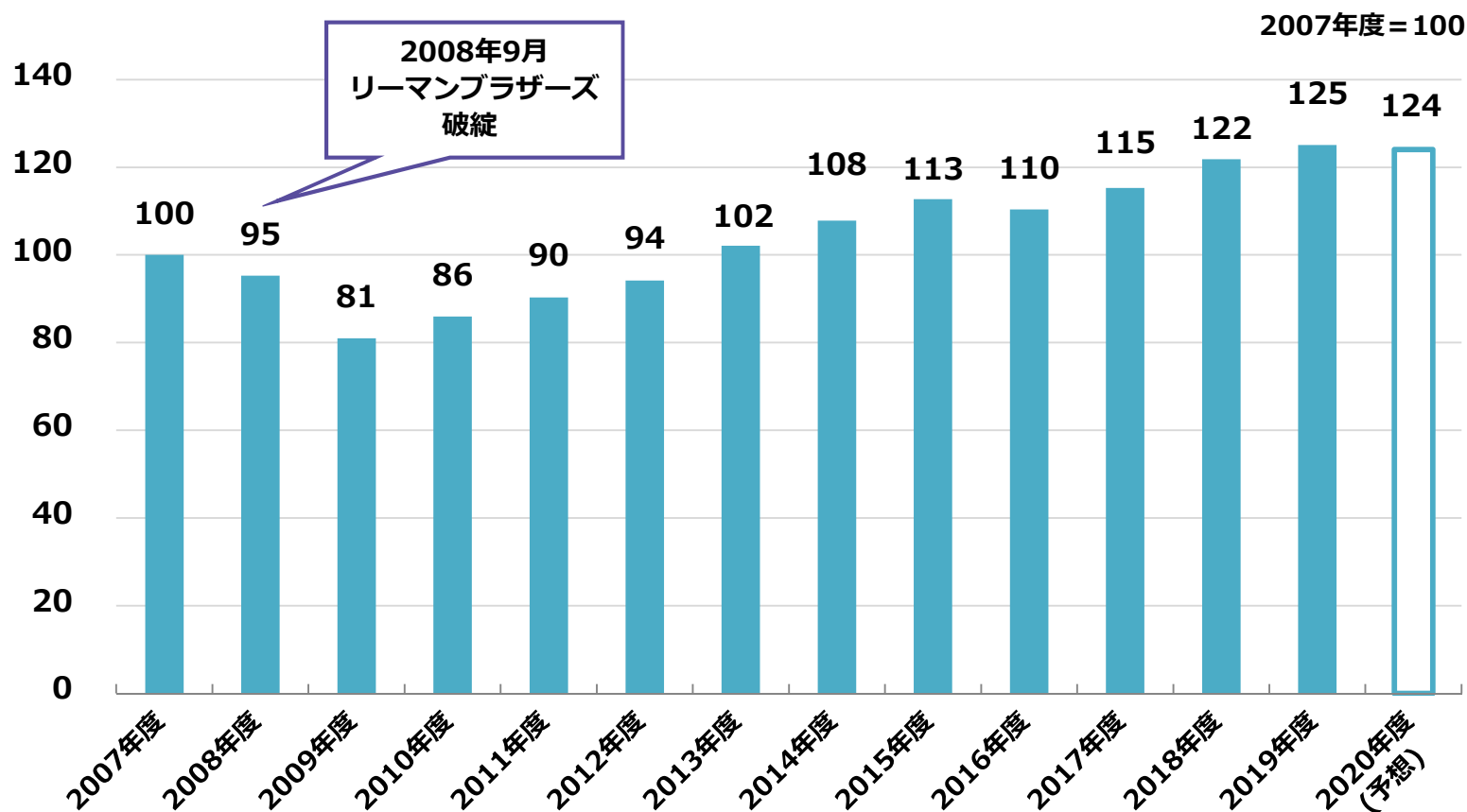
所有者別の株式分布



所有株式数別の株主分布



■ 顧客企業のメーカーの研究開発費は堅調に推移



※2007年度の指数値を100として算出。

※3月決算の上場している顧客企業の開示資料より集計。

名 称	株式会社アルトナー (英訳名 : ARTNER CO., LTD.)
設 立	1962年9月18日
代 表 者	代表取締役社長 関口相三
株 式	東京証券取引所市場第一部 (証券コード : 2163)
株 主 総 会	大阪にて開催
資 本 金	2億3,828万4,320円 (2020年7月31日現在)
本 社	東京／大阪
事業拠点	横浜／宇都宮／大阪／名古屋
研修拠点(LC)	東日本／西日本
事業内容	1) 機械 2) 電気・電子 3) ソフトウェア 左記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
社 員 数	1,145人 (2020年7月31日現在)
許可番号	労働者派遣事業 (派27-020513) 有料職業紹介事業 (27-ユ-020355)

本資料のお取り扱い

本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。

本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

(将来見通し)

本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じる事がありますのでご承知ください。

(数値の処理)

本文及び図表中の金額は、単位未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

IRメール配信

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の最新情報を配信（無料）
【登録URL】 <https://www.artner.co.jp/ir/mail/>



お問い合わせ先

株式会社 アルトナー 経営戦略本部 IR・PRグループ
TEL : 0570-00-2163 / E-mail : ir@artner.co.jp